

ふーぬ風

発行 〒901-1115
沖縄県南部農業改良普及センター
TEL:098-889-3515
FAX:098-835-6010

平成30年度 沖縄県指導農業士 認定者紹介



平成30年9月11日に沖縄県男女共同参画センターていりるにて沖縄県農業士等の認定式が行われ、南部地区から指導農業士1人が認定されました。今後も地域農業のリーダー、農業青年や新規就農者の指導者としての活躍が期待されます。

(前列左から 南部地区農業士会 宮城盛彦氏、上原清広氏、指導農業士 上原肇氏、南部地区農業士会 新田眞佐樹氏、真境名一夫氏、後列左から2番目 南部地区農業士会 國吉正治氏、後列右から2番目 JA おきなわ小禄支店経済課長 照屋強氏)



指導農業士
第334号
【上原 肇】

那覇市(養鶏)

就農して30年、JAおきなわ小禄支店畜産部会や沖縄県養鶏農業協同組合の役員を務めるとともに、地域小中学校の職場見学等を受け入れるなど、担い手育成に取り組んできました。

これからも地域活性化に励みます。



認定式後の交流会で抱負を述べる上原氏

キク類の重要害虫(クロゲハナアザミウマ)

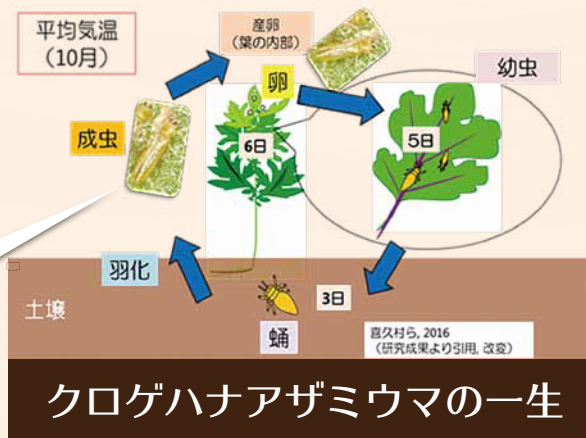
11月・12月出荷に向けた栽培が始まって1~2ヶ月が経過しましたが、病害虫に悩まされていないでしょうか？キクでの病害虫被害は大きな品質の低下に繋がります。今後、増加が予想されるアザミウマ類(スリップス)、その中でも重要害虫クロゲハナアザミウマについて生態と防除の手引きを紹介します。

クロゲハナアザミウマとは？



体長: 1 mm、**体色:** 茶
被害: 花や葉を吸汁、変色や縮れ、奇形発生
特徴: 農薬への抵抗性が強い
 夏場(8-10月)は特に増えやすい

★防除★
 幼虫や成虫が見えたら3~4日おきの農薬散布！定植時の粒剤処理！
 【卵~成虫まで14日！】



クロゲハナアザミウマの一生

雑草防除も行いましょう！

アザミウマ防除は農薬の散布が基本です。あわせてアザミウマが増えにくい環境作りを行うことも重要です。

ほ場周りの環境はどうでしょうか？

→アザミウマは栽培作物以外にも周りの雑草でも繁殖します。作付け前もしくは定期的に除草を行いましょう。
 害虫の隠れ家や繁殖場所を減らすことができます。

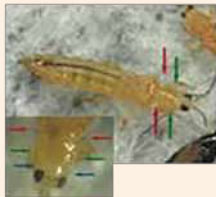
アレチノギク



オニタビラコ



このアザミウマに注意！



〔ミカンキイロアザミウマ〕という全国的に重要害虫となるアザミウマが沖縄で確認されました。他のアザミウマと異なる特徴として、農薬抵抗性がかなり強く、葉よりも花を好む傾向があります。キクやトルコギキョウ等花き類で農薬の効果があまりにも少ない場合は普及センターまでご連絡ください。

トルコ桔梗



いよいよ定植が始まります。
 畑の準備は万端ですか？
 定植直前の準備や直後の管理を確認しましょう。

定植時の 地温 気温 土壌水分 でその後の生育が決まる！

地温: 遮光をかけて(定植後1週間程度まで)、地下まで水が行き渡るよう、**たっぷりかん水！**

定植 **2~3日前** までに...

気温: 定植時の高温は、ロゼット化や品質低下の原因！
天窓・側窓・妻面も開けて、通気！換気！

適温は
夜温 15~18℃
昼温 25~28℃

土壌水分: 定植後の乾燥はロゼット化や品質低下の原因！
 定植後は2週間、**たっぷりかん水！**

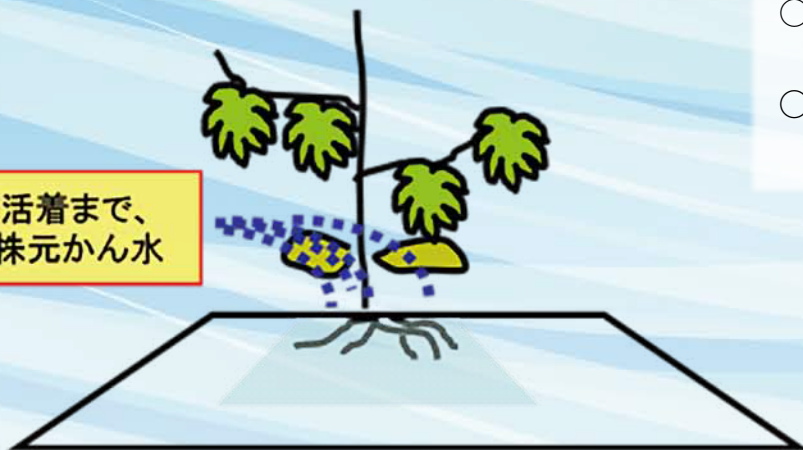
しばらく **田んぼ** 状態にしてね！

ゴーヤーの水管理について

定植後～活着まで

○定植後～活着までの2週間は手かん水を行きましょう。

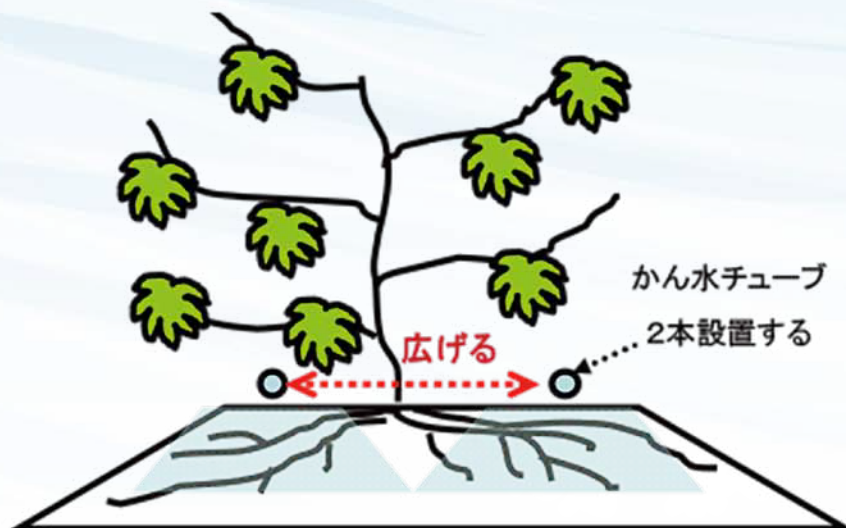
活着まで、
株元かん水



- 株元にかん水し、根を深く伸長させるように心がける
- 定植直後からチューブかん水すると根域が浅くなる

生育中期～

- 根張りをよくするため、うねの中央だけでなく、うね全体にかん水しましょう。
- かん水位置は養水分の吸収が盛んな根の先端付近に行いましょう。



- 根が張っているうねの肩や通路にかん水、追肥できるようかん水チューブの間隔を広げ通路にもかん水すると良い

- 南部のは場では、水の管理不足と考えられる根の傷み、要素欠乏、草勢の低下が多々見受けられます。草勢の低下は、早期の病気発生の要因となり、収量の低下につながります。
- かん水不足や、かけ過ぎ等で根が傷むと土壤中に養分が十分にあっても要素欠乏が起こります。根が傷んでいる時に慌てて追肥を行っても十分な効果が得られません。

～適正な水管理で草勢を維持し、長期栽培・多量生産をめざしましょう～

清 潔一番!

子牛がうまく育つ環境とは？

子牛は、成牛と比べて病気に対する抵抗力が弱い生き物。子牛を病気にさせないために、

対策1「病原菌の増殖をおさえる」子牛の病気で多いのが、菌やウイルスなどが原因の下痢。これら病原体を増やさないために、

方法1「清潔で乾燥した床を保つ」ぬれてジメジメした床では、病原体が増殖し、下痢の原因にもなります。さらに、換気がされていない汚れた空気は下痢で弱った子牛の肺炎も引き起こします。糞尿でぬれた敷料からは、アンモニアが発生して、新鮮な空気を吸えない状態になっています。

方法2「いつでも新鮮な空気がたっぷり吸える環境で」また、1頭が病気になると、次々と他の子牛に広がっていくおそれがあります。

対策2「病気を広げない」ことが大切です。

子牛の時に肺炎にかかった牛は、成牛になってからも心肺機能が弱く、十分に能力を発揮できないと言われています。気をつけましょう。

Let's チェック!

- ☑ 子牛の脚やお腹が汚れてませんか？脚やお腹が汚れていたら、床が汚れています。
- ☑ 敷料を足でギュッと踏んでみて、水分がじわっと出てきませんか？水分が出たら床はぬれています。
- ☑ 子牛の鼻面の高さ(子牛が立ってる時&座ってる時)で深呼吸できますか？深呼吸できなかったら、換気ができていません。ファンを回す、窓を開ける等換気しましょう。



Point

- 1 「乾いた」&「清潔な」床にしよう
キーワードは、クリーン&ドライ
- 2 換気して「新鮮な空気」を取り込もう



GAP

～ より良い農業管理を目指して!! ～

Good Agricultural Practice

良い 農業の 実践

GAPをする
 日々の農作業(土づくり～出荷まで)におけるリスクを認識して、それぞれのリスク低減に取り組むこと



- ステップ ① まずは身の回りの整理整頓から
- ステップ ② 農場内のリスクを点検
- ステップ ③ 問題点やリスクの高い箇所を優先的に改善!

	✓	取り組み内容の例
準備段階	<input type="checkbox"/>	定期的に土壌分析を受け、肥料の種類・施用量を決定していますか。(環境保全)
	<input type="checkbox"/>	使用する農業用水の水質を確認していますか。(食品安全)
育苗	<input type="checkbox"/>	種苗に使用した農薬の種類、使用回数を確認していますか。(食品安全)
栽培管理	<input type="checkbox"/>	防除履歴を記録し、農薬の総使用回数等を確認していますか。(食品安全)
	<input type="checkbox"/>	農薬散布時、適切な防護服で行っていますか。(労働安全)
	<input type="checkbox"/>	農薬や肥料などの使用記録を整理し、在庫管理をしていますか。(農場経営管理)
	<input type="checkbox"/>	事故や緊急時の対応を理解し、確認をしていますか。(労働安全)
収穫・調整・出荷	<input type="checkbox"/>	農薬の使用日と収穫前日数を確認し、収穫していますか。(食品安全)
	<input type="checkbox"/>	収穫物の輸送時に、落下や異物混入対策を行っていますか。(食品安全)



✓ GAP実践で得られるのは、農家としての**スキルアップ**
 自分の農業管理を把握することで、より安全で効率的な農業生産が実践できます!!

1. 農産物の安全・安心の担保 … 消費者や取引先からの信頼確保
2. 畑周辺の自然環境の保全 … いつまでも安心して住める環境づくり
3. 農作業事故防止 … いつまでも健康で農業生産
4. 人権保護 … 一人ひとりが気持ち良く働ける環境づくり
5. 農場経営管理 … 自身の農業を見える化することで経営感覚UP!



⚠ GAPをする = 経営改善の手法

(地域特産振興班 屋嘉比 仁美)

チバリヨ～新規就農者 関わり合い、交流し、繋がろう

平成29年度の南部管内における新規就農者は、45名(市町村実態調査)で、糸満市と八重瀬町で各13名と最も多く、次いで南城市の8名でした。

当センターで開催の平成30年度新規就農講座には31名の応募があり、基礎講座、専門(野菜・果樹・花き)講座を受講中です。

地域の指導農業士や認定農業者のみなさま、先輩農業者のみなさま、応援をよろしくお願ひします!



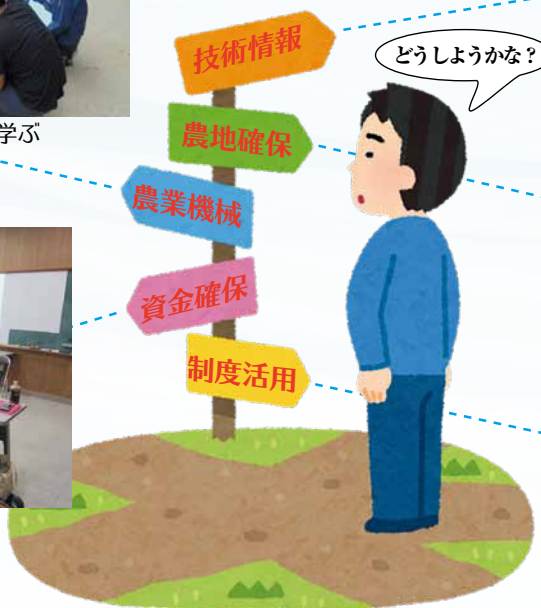
指導農業士から技術を学ぶ



農業機械士から学ぶ

新規就農者のみなさん

人と関わり合い、交流し、繋がることで解決できることがあります。



青年クラブの仲間となり語る中で農地確保に繋がった人も



経営改善計画書勉強会



地域の人・農地プラに位置づけされる。市町村や関係機関のつながりも大切



H30年度の新規就農講座受講生のみなさん



青年クラブや指導農業士と情報交換

離島情報 南大東村

【カボチャの栽培状況】

南大東村では、さとうきびを中心とした農業経営が行われていますが、秋からはカボチャの栽培が始まります。生産組織はJAの生産部会の他、出荷組合、農家個々での市場出荷など様々な形態があり、約60戸の農家が栽培しています。生産量は近年600～700tで推移しています(表1)。JA生産部会や大規模法人では、取り扱い量が多いため、コンテナで島から船で出荷し(写真1)沖縄本島の業者に箱詰めを委託しています。

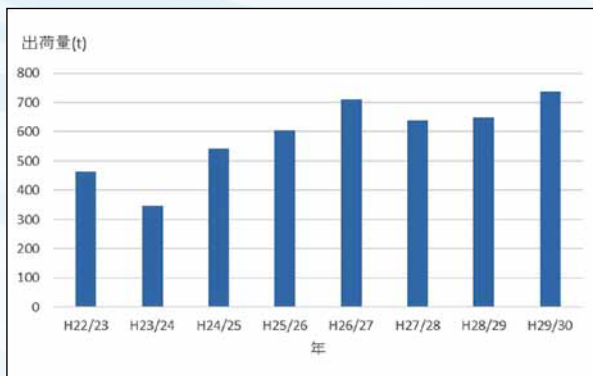


表1 南大東村のカボチャ出荷量(役場調べ)



写真1 コンテナに積み込まれたカボチャ

～ 課題 ～

- 栽培面積も伸びており、好調のように見えますが、いくつか課題も見られます。
- 栽培技術のバラツキ:栽培技術が高く、安定した収量を得て面積を増やす農家がいる一方で、病虫害被害等による不作が続き、規模縮小に迫られる農家が見られます。
- 繁忙期の管理が不十分:1ha以上の面積を栽培する農家が多く、12～2月頃の繁忙期には雇用を入れて労働力を増やしていますが、管理作業が後手になり品質の低下、低反収を招いている農家が見られます。

～ 対策 ～

これらの課題解決のため、栽培管理講習会や現地検討会等(写真2,3)の他、労働力に見合った栽培規模の適正化を図り、高品質で安定した量を出荷できる産地づくりに努めています。また、さとうきびとの輪作を推進し、農業全体の発展に取り組んでいます。



写真2 栽培管理講習会



写真3 現地検討会



天敵利用技術の紹介 ～最近よく耳にする「天敵」とは？～

天敵とは？

農業で言う天敵とは、簡単に言うと捕食等で**害虫を防除してくれる虫**などのことです。

つまり”食う食われる”の関係を利用したのが天敵による防除です。

なぜ天敵を利用するのか？

きちんと使いこなせば、収量や品質を維持しながら、薬剤散布回数が減る等、省力化が図れるからです。

3メリット

☆夏場ハウスでの防除作業が楽！

☆成功すれば殺虫剤の散布回数が減る！

☆薬剤抵抗性のついた害虫でも防除可能！

県内の事例

マンゴーやピーマン等で利用されています。

人気のある天敵製剤は「スワルスキーカブリダニ剤」で、アザミウマ類やコナジラミ類を防除します。

天敵利用に際して

天敵防除技術は有望で、近年全国で広まっています。

しかし、散布するだけの化学農薬とは違い、天敵はいわば生態系を扱う技術です。ハウスの環境を整える、使う化学農薬を制限する、等々、天敵放飼までにも様々な準備が必要です。

また、慣れるまでは失敗もつきものです。利用を考えている方は、**必ず事前に指導機関と相談**して下さい

(普及企画班 長浜 隆市)

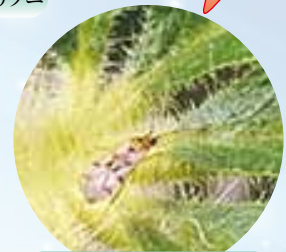


天敵放飼は軽装でOK



アザミウマを食べるカブリダニ

今話題です



タバコカスミカメ

南部の農業を支える農業機械士

有限会社グリーンいとまんは糸満市でさとうきび収穫作業の受託を主とする中核的担い手組織です。グリーンいとまんではさとうきびの収穫・管理作業の他に、種苗確保が困難な農家に対して種苗を供給するなど、糸満市のさとうきび生産の効率化・省力化に取り組んでいます。

収穫以外の期間では、農作物の輸送や野菜作の作業を請け負うことで安定経営を実現させています。

その代表取締役常務を務めるのが渡慶次賀先さんです。

渡慶次さんは農業機械士の資格を持ち、農業機械士協議会南部支部に所属し、オペレータとしての長年の経験と技術を生かし、後輩会員に対する指導、助言等を行っています。また、会員の技能向上を図るだけでなく、当普及センターで毎年実施される新規就農講座の農業機械の講師を率先して務め、地域の担い手育成・確保や農業機械の安全作業の推進にも貢献しています。

会員からの信頼も非常に厚く、平成19年から平成28年の10年間は農業機械士協議会南部支部の支部長を務め、現在も副支部長として支部の取り組みを積極的に企画・運営し、組織の発展に長年尽力されています。その功績が評価され、昨年度は沖縄県農業機械士協議会30周年式典で特別功労者として表彰を受けています。

(地域特産振興班 小橋川 隆一)



有限会社 グリーンいとまん

代表取締役常務

渡慶次 賀先